

モルイ ボル フニー ジギール
「Морь бол хүний жигүүр.」——モンゴル語です。直訳すれば「馬は人の翼。」となり、意味は「遠くに行く（目標を達成する）には、自分自身の努力に加え、良き仲間の存在が不可欠である。」となるそうです。モンゴルでは広く知られた諺であり、さすがは「立って歩くより馬に乗るほうが先。」と言われる騎馬文化の国だけのことはあります。

くしくも今年は午年です。「予測困難な時代。」と言われるこの時代で躍動するため、今の自分に磨きをかけ、仲間と学び合ってさらなる高みへと駆け上がっていきたいものです。3学期の登校日数は48日。短い学期ではありますが、集大成となる学期が始まっています。

◆活動の様子と予定(12/25~1/23)

集大成

12月25日(木) 2学期終業式・賞状伝達式
12月26日(金) 年末年始休業 3年:~1/5日(月)
1月1日(木) 元日 1・2年:~1/6日(火)
1月6日(火) 3年:第4回総合テスト
1月7日(水) 3学期始業式・全校身体測定

1月9日(金) 後期第1回生徒会
1月11日(日) アンサンブルコンテスト松本地区大会
1月14日(水) 後期第1回生徒集会
1月18日(日) アンサンブルコンテスト中信ブロック大会
1月23日(金) 第4回PTA常任委員会

「与えられた学び、ではなく、自らの意思で学び取る姿勢、こそが、自分の未来を切り拓く力になる。全ては意識と行動が未来を決めていく」——。校長先生のそんな呼びかけとともに

始まった86日間の2学期は、日々の学習や飛翔祭、探究学習発表会といった活動を通して輝く皆さんの姿を残しつつ、12月25日の2学期終業式とともに幕を下ろしました。終業式に先立つ賞状伝達式では、部活動や社会体育で好成績を残した皆さんに対し、賞状が伝達されました。続く終業式では、各学年を代表して7名の皆さんが探究学習の成果や課題を発表し、校長先生が締めくくりのお話をしました。校長先生はその中で、「探究学習では4つ、大切にしてほしいことがあります。1つ目は「問いを大切にすること、——よい問いとは、すぐに答えが出ない問いです。2つ目は「失敗を恐れないこと、——失敗から学ぶことが、次の一歩につながります。3つ目は「自分の言葉で語ること、——自分で考えたことを自分の言葉で表現することが探究の価値です。4つ目は「社会とつながること、——中学生の力は大きい期待されています。」と呼びかけ、最後に「探究は、自分の人生を主体的に生きるための第一歩です。主体的に生きるため、興味のあることを考え続け、実践につなげていくことを大切にしてください。」と締めくくりました。



賞状伝達式



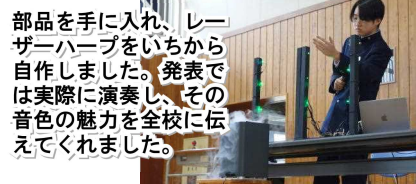
校歌伴奏を務めた3年生に感謝



校長先生のお話

【探究学習発表:レーザーハープをいちから自作するには】

3年生男子 :アーティストが使用するレーザーハープに興味を持ち、市販品が少ない理由や仕組みを探究しました。レーザーハープは光を弦に見立て、遮ることでセンサーが反応し、音が鳴る電子楽器です。需要の少なさや安全性、高コストなどが市販化を難しくしていますが、光と音の関係を体感できる点に魅力があり、今後も改良を重ねていきたいです。



部品を手に入れ、レーザーハープをいちから自作しました。発表では実際に演奏し、その音色の魅力を全校に伝えてくれました。

【探究学習発表:NEW! 制服 project】

3年生女子 :制服の価格が高く、冬は寒いという問題意識から探究を始めました。安価で購入できるリユース店の活用や、校内で着用可能な学校指定カーディガンの導入を提案したいです。動きやすく、丈夫で低価格、男女ともに使いやすいデザインを目指し、近年の中信地区13校で進む制服改定の流れも踏まえ、今後の信明中学校の制服のあり方を、引き続き探究していきたいです。



制服のあり方について探究し、実用性とデザインの両面から新しい提案をしてくれました。

【探究学習発表：防災について～信明中学校が避難所になったら】

2年生女子3名：信明中学校が避難所になった場合を想定し、防災について探究しました。南海トラフ地震では多くの避難者が予想され、防災倉庫の物資だけでは不足することが分かりました。特に赤ちゃん・女性・ペット用品が不足しており、物資到着にも時間がかかります。今後は、必要物資のリスト化や防災バッグ作成の呼びかけを目指したいです。



3人の目標は、避難所としての信明中学校の課題を明確にし、松本市に提案することです。

【探究学習経過発表】 1年生男子

僕の探究テーマは「地震など災害に関すること」です。なかでも「保存食」に注目し、実際に「日持ちする保存食を作る」ことを目指していきたいです。

先輩の発表から、実際にその場に行き調べることの大切さを学びました。



【探究学習経過発表】 1年生男子

僕の探究テーマは「交通安全」です。信明中学校周辺の危険地域や交通マナーの状況を調べ、ポスターなどを作って地域へ広めていきたいです。

先輩の防災の発表から、改めて家族と避難先などを確認したいと思いました。



明けて2026年——。1月6日には3年生のみが登校し、**第4回総合テスト**に挑みました。新年の挨拶を笑顔で交わしつつも、その表情からは緊張感がうかがえ、真剣に問題に取り組む姿からは、進路実現に向けた強い意志を感じました。

翌7日には、全校生徒が元気に登校し、**3学期始業式**が行われました。オンラインで行われた始業式では、各学年を代表して3名の皆さんが決意を發表し、続いて校長先生が、「残り姿」と題して次のようなお話をされました。——みなさんは、新しい年をどんな1年にしたいでしょうか。『一年の計は元旦にあり』という言葉があります。同じく、戦国武将の毛利元就は『一年の計は春にあり。一月の計は朔にあり。一日の計は鶏鳴にあり』と言っています。最初に立てる計画が肝心で、大きな目標を達成するためには、たくさんのスモールステップとその見直しが不可欠ということです。さて、今年度の登校日は残り48日となりました。この48日間をどう過ごすか、ぜひ考えてほしいと思います。ここで大切にしてほしいのが『残り姿』です。『残り姿』とは、その場から人が去った後に、残された場の様子から感じられる『去った人が残した心の姿』のことです。みなさんが帰ったあとの教室や下駄箱、学校行事が終わったあとの学校に、どんな雰囲気が残っているでしょうか。さらに、卒業して10年後、20年後の学校を想像してみてください。今のみなさんひとりひとりの行動の積み重ねが、校風や伝統となって未来につながっていきます。何気ない行動ひとつひとつが、学校のこれからをつくっているのです。最後まで気を抜かず、学年の締めくくりを大切に、次の学年やこれからの信明中学校に誇れる『残り姿』を残せる48日間にしましょう。



3学期始業式で決意発表した学年代表の皆さん



オンライン始業式
教室の様子



『残り姿』
2学期終業式、下校後の校舎の様子。磨き上げられた廊下や整った机から『残り姿』がうかがえました。

【3学期に頑張りたいこと】 1年生男子：3学期に頑張りたいことが3つあります。1つ目は、定期テストに向けての取り組みです。『毎日の積み重ねの学習』を大切に、コツコツと計画的に進めたいです。2つ目は、意見を発信することです。今まで間違ふことを恐れ、なかなか意見を言えませんでした。勇気をもって発言できるようにしたいです。3つ目は、部活動や習い事です。特に空手では、『大きな大会で優勝』を目標に、今まで以上に本気で取り組みたいです。今のクラスで過ごせる3カ月を大切にしたいです。

【3学期を迎えて】 2年生女子：3学期となり、2年生として過ごすのも残りわずかとなりました。3学期は来年に向けての移り変わりの時期なので、この時間をどう使っていくかが『鍵』になります。私は3学期、勉強を頑張るのは勿論、『気持ちの切り替え』、つまり、メリハリをつけることを頑張りたいと思います。時の流れを早く感じる3学期、仲間とともに無駄のない日々を過ごしたいです。



【2025年の経験】 3年生男子：僕にとって2025年は『経験』の年でした。これについて、2つ発表します。1つ目は、校風副委員長を務めたことです。全体の意見をまとめながら、過ごしやすい校風を検討することで、僕自身もリーダーシップを身につけることができました。2つ目は、サッカーです。大会では思うような結果を残せませんでしたが、ドリブルなどの技術力を高めるために、失敗をポジティブにとらえ何度も挑戦した結果、メンタルやフィジカルも鍛えることができました。これらの経験を新しく始まる高校生活に生かし、失敗を成功に変えられる人間になりたいです。



台湾訪問

松本市—高雄市（台湾）友好都市提携にかかわり、1/5～1/9に松本市から20名の中学生が訪台し、地元の中学生と交流しました。本校からは2年生女子1名が参加しました。

今回の研修で、言語の壁は思ったより薄いことが分かりました。英語で話するのが難しくてもお互いが理解しようと努める、その中に生まれる絆もあると実感しました。

保護者の皆様、地域の皆様、旧年中は、信明中学校の教育活動にご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。本年も引き続き、ご支援いただけますよう、よろしくお願いいたします。



信濃毎日新聞新春俳句
コンクール 中学生の部

◆入選 “炎天やマウンドまでの二十二歩” 三年男子